

## 建築用シーラー

## 浸透形Mシーラー

系 統 ターペン系2液形エポキシ樹脂シーラー

適用規格 JASS 18 M-201 適合品

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

## 特 長

- 1) ターペン系なので臭気がマイルドで内外装ともに使用可能な作業環境に優しい材料です。
- 2) 浸透性が高く、素材の表面強化性に優れます。
- 3) エポキシ樹脂の特性を活かした耐水性の良好な下地層を形成します。
- 4) 塗装作業性に優れています。
- 5) 内装のケイカル板塗装への下塗りに適しています。

## 塗装条件

塗装方法	はけ	ローラー	エアレススプレー		
希 釈 率	0%	0%	0%		
標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.14	0.14	0.18		
希 釈 剤					

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。  
公共建築工事標準仕様書の塗付け量は0.08kg/m<sup>2</sup>です。

## 塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	
標準塗装間隔	最 短	4時間	
	最 長	7 日	
使用時 限		10時間	

## 塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	15kgセット ベース: 12kg 硬化剤: 3kg
2 混 合 比	ベース/硬化剤 = 4 / 1
3 色	淡黄色透明
4 つ や	—
5 仕 上 が り 感	—
6 塗 料 比 重	0.90(淡黄色透明)
7 溶 剤 比 重	0.82
8 加 熱 残 分	22%(淡黄色透明)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 働 法 上 の 表 示 有 害 物	ベース: キシレン 硬化剤: —
11 有 機 則 / 特 化 則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	ケチミン

## 主な適用素材

モルタル、コンクリート、PC板、ALC板、GRC板、押出成型板、珪酸カルシウム板、窯業系サイディングボード、窯業屋根等

## 主な適用下塗塗料

## 主な適用中塗塗料

## 主な適用上塗塗料

セラMレタン、セラMシリコンⅢ、セラMフツツ、コスモマイルドシリコンⅡ、アレスアクアグロス、アレスアクアレタン、アレスアクアシリコンACⅡ、シリコンテックス、ビニデラックス各種、アレスダイナミックルーフアクア、スーパーシリコンルーフペイント、アクアヤネフツツ 等

## 使用上の注意事項

- 1) モルタル、コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケイト科学社製(H-2)または5%以下(ケイト科学社製PH-500シリーズ、コンクリートレンジ)まで乾燥させてください。
- 2) 塗装を行う前には、高圧洗浄機等を用い、劣化した旧塗膜や表面の化粧層、汚れを inclusion 除去し、十分に乾燥させてください。
- 3) 濡れている場合は十分に乾燥させてから塗装して下さい。乾燥が不十分で塗装するとフクレ、剥離の原因となります。
- 4) 規定の割合でベースと硬化剤を混合し、攪拌機などを用いて内容物が均一になるように十分に混合してから使用して下さい。
- 5) 硬化剤を混合後、8時間(30℃)、10時間(23℃)、16時間(10℃)を過ぎた場合は使用しないでください。
- 6) 上塗りにアレスレタンなどの強溶剤形塗料を塗装する場合は、マルチタイルコンクリートブラザーエポキシを使用して下さい。
- 7) 降雨の予想される日および外気温の低い時(5℃以下)、多湿時(85%以上)での塗装は避けてください。
- 8) 反応硬化系なので、塗装機器の放置は避けて下さい。使用後はラッカーシンナーで十分に洗浄して下さい。
- 9) 塗料が皮膚に付着すると、カブレを起こすことがあるので、皮膚に付かないように取り扱って下さい。
- 10) 換気の良い場所で取り扱ひ、容器はその都度密栓して下さい。
- 11) その他、塗料の取り扱いについてはその一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。